令和5(2023)年6月1日発行　第145号

こびとのおうちえんLetter 6月号

フキとりを(ちほ)とした。よっこがとったのを(ちほ)がうけとってカゴに入れる。いっぱいになると持ちかえって葉っぱを一緒にとる。エンにあげる。それから板ずりをして、たき火に火をつけてなべをかける。(ちほ)は、たき火がすきでずっと楽しそう。
そして、フキをゆがいてこんどは皮むきをする。スーッとむいてゆく。ていねいだ。今日は(ちほ)と2人の作業。これを煮て明日のみんなのお弁当のおかずにする。午後、(かいと)(しょうま)と遠くまでさんぽしようと出かけたら、早々にハチクをたくさん見つけた。予定変更。ハチクをたくさんとってかかえて持ってかえった。たくさんとったハチクも一品にしよう。とったものがみんなの体の一部になるのは、とてもうれしい。のいちご、グミ、キクラゲ、さくらんぼ、たけのこ、ハチクいろいろとって食べたね、5月。

ももちゃんのコーナー

福島第一原発の事故が起きた時、タイに住んでいた私は、日本が1才の息子を連れては帰れない所になってしまったと思った。それから4年たっても自給自足的な生活をどこで始めるか迷っていた。
事故以来初めて帰国して自然農をしている人を訪ねた時、その人はそこでとれたお米と野菜を裏山の薪で調理してもてなしてくれた。そして、程良く整えられた畑の中にある小さな芽を見て、「すべてはここにあるんだよ」と言った。刈った草の下の微生物や虫たちがそれを分解した土の中で、昨年とれた種が芽を出す。おひさまと雨が降り注いで、お米や野菜が育っていく。きれいな大地と水があれば、どこでも生きていけるのだ、と大きな安心感を覚えた。
それ以来、田畑を生業として8年目。最近生活に慣れてきて、田畑仕事に向き合う真摯な気持ちや四季を通して得られる食物への感謝の気持ちが薄れていたなあと思う。足りない物に目が向いて、人のせいばかりにして、不満や不信感でいっぱいになって、日々の生活をないがしろにして…。自分がどうしたいのか、どう在りたいのか、わからなくなっていた。
一方、おうちえんの日々はとても充実している。自分をしっかりみつめる。相手の気持ちを尊重する。丁寧に対話をする。できていない時も多いけれど、少なくともそうしたいと思っている。おうちえんがどんどん大切に、心地良い場所になっていく。
すべては私の中にあるのだ。雨上がりのすっきりした日に、塔立ちしてしまった玉ねぎを抜きながら、今年は丁寧に畑仕事に向き合おうと思う。

堀　百代

5月はこんなことしました

- さくらんぼつみ
- こいのぼりをあげる
- 日向平のこいのぼりをみにいく
- のいちごつみ
- お米のたねまき
- 苗床のそばでどろんこ
- 神護寺にいく
- はちくとり
- 虫とり
- 忍者修行
- こうそジュース作り
- あくまき作り
- ぐみとり
- 鼓ケ浦であそぶ
- バナナおに
- フキとり、フキの下処理
- 木工作
- そらまめとり
- お花ややさいのたねまき
- 梅もぎ、梅シロップ作り
- サッカー
- 船岩寺に行く
- 大きな紙におえかき
- 紙の人形でごっこあそび
- 大なわとび

etc…

おたんじょうび おめでとう!!

2日 はまむらうた ちゃん（5さい）

★6月のスタッフプラン★

たうえ

22日(木) おべんとうのひ
なぎさ水族館へいこう！
※おべんとうの準備をおねがいします。

6月のペアレンツグループ

30日(金) 13:00〜15:00
場所 もみじのおうち
内容 コミュニケーションワーク
（聴くことを学び合いましょう）
※参加する方は事前にご連絡下さい。
当日でもOKです。

＿＿＿＿の様子をおしらせします

おしらせ♪

年長さんの夏キャンプの日程が決まりました。
7/7(金)〜7/8(土) 通常保育後　10:30a.m.です。
はじめてのみんなでのキャンプ。とても楽しみです。
詳しくは後日別紙にてお知らせしますね!!

よっこのちょこっとおうちえん日誌 ―日々のあれこれ―

(ちほ)「まんまるのお月さますき。クッキーみたいだから。」(5/10)

(かほ)(小)「おたませ〜」
「おまたせー」とよくよっこが言うから、私がトイレから出てきたら、(かほ)(小)が、それを予測して言ったのがおもしろかった。(5/12)

石垣の上から下がった枝と石垣の下から上っていく枝とが近づき合っているのを見て、
(かいと)「なかよしになりたいんかな。」(5/15)

午後、やりたいことのない(しょうま)。しばらく草むらにすわっていた。ぼんやりの時間、それも要ると思う。
何もしない時間があっていいのだ。
だれかが用意してくれた時間は楽ちんだ。
でも、自分の心がおどることこそよろこびだと思う。
何かやってればいいわけじゃない。(5/12)

(けいご)「ぼくはおにいちゃんがすき。(かほ)もすき。」
「(ゆずき)はだれがすき？」
(ゆずき)「(けいご)」(5/12)

よもぎんの作ってみたい、ではじまった「あくまき」作り。
たけのこの皮あつめ、乾そうさせる(5/8〜)。木灰汁(アク)作り(5/18)。
そして竹の子の皮にもち米入れて包んで3時間アクでことこと煮て(5/28)、そのときどきでやりたい子がたずさわって準備して、完成したあくまきは大成功!!
とてもおいしかった。てまひまかけて作るって大事だなあ。

朝からへやにいる(けいご)のパワーはあまっている。ワーワー言って近くの大人をつかまえてはあばれて、そのときWちゃん((かほ)(小)母)が「これくらいのつよさはOK、それ以上はムリよ」ってちゃんと伝えていたのが気もちよかった。
私は、(けいご)は外につれ出したかったので、おふろたきにさそった。木を入れるのも火を大きくするのも2人で楽しんだ。それでも、まだパワーあるので、下に行ってあそぼうとさそったら、おりていって、川になんかの実を流したりカエルをさがしてあるいた。
モーニングミーティングで、(けいご)がやりたいことで「よっこと忍者修行」と言った。(けいご)(しお)(きょう)よっこで「あめのにんじゃしゅぎょう」に出かけた。雨にはほぼふられなかったけど、ほんとに修行だった。すべるし、蚊はくるし、でも、進みたい方向（行ったことない道）を選べる(しお)がたくましかったし、見つけた沢（私もはじめて）をどんどん下るのもおもしろかった。
(きょう)もがんばって（これまたたくましかった）ついてきた。
11:30すぎに森から出て4人でおふろに入っておべんとうをたべた。
雨のおべんとうのひもいいもんだ。
他のメンバーやスタッフも十分楽しんで帰ってきた。(5/30)

5月のうたは「オーイ、こいのぼり」
ごがつのみどりがはずんでる　みどりのなみがゆれている
そんなでだしのうた。そしてさいごにヤー!!といって手をあげる。みんなで歌ってスタートする朝が楽しい。
歌いたい歌を子どもたちもリクエストする。(うた)が「風が吹いてくる」と言った。久しぶりの「風が吹いてくる」。(うた)がまっすぐな瞳でこっちを見つめて、そして大きな声で歌っている。なんかそのまっすぐさに心うたれて、朝から泣きそうになった。(かいと)も(しょうま)もいつのまにか熱唱していた。各々が歌っている姿も、歌っていない姿もよかった。(5/19)